

ソフト事業のみ ハード事業を含む

成果検証報告書

【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度 令和5年度

市町村名	羽生市					
提案事業名	ハーブ農園整備事業					
事業期間	令和3年度 ~ 年度					
成果指標	(成果を検証する指標) さいたま水族館、キヤッセ羽生、羽生チャレンジファームの集客数					
	(成果検証の具体的な方法) 水族館の来客数、キヤッセ羽生のレジ打ち数及び羽生チャレンジファームの利用者数の合計を事業実施前と実施後の数値を比較し、増減数及びその原因を分析する。					
	(成果の目標値に対する実績)			達成度	A	
	従前値 (3年3月時点)	196,062人	目標値 (4年3月時点)	303,000人	実績値 (4年3月時点)	324,373人
	(施設建設等の場合の実績)					
	年間利用者数 (人)	(目標) (実績)		稼働率 (%)	(目標) (実績)	
住民への公表状況 及び特記事項						

【事業効果の整理・原因分析】

令和5年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① ハーブ農園整備事業	△	日常生活の中での気分転換やリフレッシュを求めて需要が高まっているハーブに着目し、ハーブによる花壇の整備を行い、周辺の集客施設とタイアップした周遊ルートを確認することで、観光客の確保を図った。なお、水はけの悪さからハーブの生育が想定よりも遅く、また一部枯れてしまったが、その後、一部のハーブを植えなおし、また水族館側から来られた方がハーブ農園内を散策しやすいよう、通路を確保した。新型コロナウイルス感染症も落ち着いたことから、ハーブイベントを開催したり、周辺観光施設と連携した取組を開催しながら集客の増加に向けて取り組んでいく。
② 摘み取り体験及びワークショップ事業	△	ハーブ農園でのハーブ植え体験、近隣施設でのハーブ講座を通じて、ハーブの魅力を地域の方に知ってもらうことができた。ただし、ハーブ農園のハーブは生育不良であったため、摘み取りできるまでには至らず、収穫したハーブを使ったワークショップを行うことができなかった。今後は、ハーブ農園でのワークショップを行うことで、ハーブ農園を広く周知し、周辺観光施設との周遊ルートも確立し、集客増を図る。
③	○ △ ×	
④	○ △ ×	
⑤	○ △ ×	
⑥	○ △ ×	

【成果検証の総括・改善策の検討】

実施事業について 十分に成果が認められた点	ハーブ植えの体験やハーブ講座などを開催することができ、ハーブを地域にPRすることができ、地域に根ざした取組みができた。
実施事業について 成果が不十分である点	ハーブ農園内のハーブの生育が順調ではなかったため、摘み取り体験や周遊ルートの確立に至らず、集客増を図れなかった。
成果検証を踏まえた 今後の改善策	ハーブ農園でワークショップを開催 キャッセ羽生、水族館、ハーブ農園、チャレンジファームの周遊ルートを確立し、連携強化を図る。 ハーブ農園内のハーブの案内板を目立つようにする。